

### 第3回中野市保育所運営審議会会議録要旨

平成23年2月25日（金）PM2:00～PM3:10

中野市役所第4委員会室

#### 出席委員

（小林保、黒岩町子、青木淳一、佐野幸代、小林伸雄、長張むつ美、岩本進）

#### 欠席委員

（山口優子）

#### 市

（小田切市長、渡辺子ども部長、池田保育課長、池野課長補佐、太田保育係長、小林主査）

- 1 開会（事務局：子ども部長 進行）
- 2 市長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 会長選出（小林保氏が選任）
- 5 会長あいさつ
- 6 諮問書の提出（市長が諮問書を会長に提出）

—市長退室—

- 7 協議事項（会長 進行）
    - （1）中野市保育所整備計画の一部修正について
      - ・資料を説明
        - 資料1 保育所整備に関する経過
        - 2 「中野市保育所整備計画」の一部見直しについて
        - 3 中野市保育所整備計画について
        - 4 中野市運営審議会条例
- （資料1，2，4を保育課長説明）  
（資料3を保育課長補佐説明）

・質疑応答

- 施設の整備にあたっての施設面積に決まりはありますか。(委員)
- 児童福祉法の規定に基づく児童福祉施設最低基準の中で保育所の設備の基準の詳細が定められていますが、その基準と中野市の最新の保育所である、たかやしろ保育園を参考といたしました。待機児童の多い東京都など都心のほうでは、基準どおりの面積を確保できない場合もあり、各都道府県で基準を定めても良いような流れができつつありますが基準以上のよりよい施設整備に努めてまいります。(保育所の整備の基準に則り、年齢別に必要とされている保育スペースの面積を説明)(保育課長)
- 人口推計(子ども)はどのように見えていますか。(委員)
- 子どもの人口推計については、資料にもありますが減少をたどると見えますが、市街地の「みよし保育園」や「西町保育園」等においては、保護者の就労形態もあり、村部にお住まいでも市街地の保育所に預けるケースがあるため、園児数については減少してきていません。  
最近の傾向として、産休明けから仕事に復帰されるなど保育所に預ける年齢が低年齢化しています。その点からしても、0歳児と3歳児では保育にかかるスペースも0歳児の方が必要であるため、ゆとりのある保育所整備をしてまいります。(子ども部長)
- 資料3P3下段の「オ 多様化する保育ニーズに対応できる施設とすること」の多様化の意味は。(委員)
- 病児・病後児保育、休日保育の事であり、社会環境の変化に伴う新たなニーズにも対応してまいります。また、将来的には、午前7時30分から午後6時30分までの長時間保育を11園で対応したいと考えています。(保育課長)
- 病児・病後児保育を西町保育園で考えているということは、他地区からの受け入れも行うものでしょうか。(委員)
- 市内全域の病児・病後児を対象に実施するものでありますので、他地区の園児も受け入れて実施してまいります。(保育課長)
- 保護者も多様化しています。保護者の研修(指導)等も行われる機会があればと思います。(委員)
- 保育指針に保護者への指導等も含まれており、小さい子どもには、子育て

支援センターで相談業務を行っています。保育所においても、子育て相談を実施しています。新しい施設になれば、環境的にも整いますので、一層の推進をして参ります。（保育課長）

(2) その他

本日の協議（説明）を受け、内容も理解いたしました。また、これまでの間様々手続きを経て市民への説明もされたうえでの諮問であり、本日の会議で答申までまとめてよいのではとの提案があり、他の委員からも意義はなく、今回の諮問内容について、適切である旨の答申内容とすることと決定し、答申書は正副会長の考えで調整し、後日市長へ提出することと決定する。

8 その他

現場の保育士さんの日々の努力には本当に感謝している旨の発言がなされた。

9 閉会（会長） 午後3時10分